

23: 海外ドナーからの移植

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 東梅 友美	山形大学大学院医学系研究科	内科学第三講座 血液・細胞治療内科学分野
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
一戸 辰夫	広島大学病院	血液内科
中瀬 浩一	愛媛県立中央病院	血液内科
三田村 真	ノバ・バイオメディカル株式会社	
木村 文彦	防衛医科大学校病院	血液内科

2. 会議開催記録(2020 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容

3. メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から 2019 年 12 月末時点まで）

（ 490 ）回

4. WG の今後の活動方針・抱負など

当 WG では、これまで①海外ドナーからの移植は、国内骨髄バンクや臍帯血移植と遜色ない成績である ②海外ドナーから移植を受けた症例の HLA には特徴がある ③海外ドナーからの移植コーディネート期間は比較的短い という事を明らかにしてきました。しかし、海外からの非血縁者間同種造血幹細胞移植は、昨今の臍帯血移植、PT-CY によるハプロ移植の増加から劇的に減少しており、今後研究テーマが極めて限局的になると思われます。そこで、関連のある他 WG との再編・合併により、当 WG の特徴を生かしながら研究活動を継続したいと考えております。具体的には、①海外骨髄バンク(例:中国・韓国・台湾など)との共同研究が可能ならば、移植情報の提供を受けることで、国内から海外へ提供された造血幹細胞を用いた移植成績の解析を行う。②日本国内で造血幹細胞移植を施行された外国人患者の移植成績解析などを考えております。